

審議会等会議録

審議会等の名称	令和 7 年度第 1 回山口市立図書館協議会
開催日時	令和 7 年 7 月 1 8 日（金曜日） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
開催場所	山口情報芸術センター多目的室（2 階）
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、伊東副会長、仲村委員、井上委員、属委員、福永委員、栗原委員、長谷川委員
欠席者	安光（真）委員、瀬川委員、中西委員、桑田委員
事務局	山下中央図書館長、杉山小郡図書館長、網田秋穂図書館長、国重阿知須図書館長、榎本徳地図書館長、徳本阿東図書館長、岡村中央図書館管理担当主幹、一村中央図書館サービス担当主幹
議題	1 委嘱状交付 2 委員紹介（自己紹介） 3 会長及び副会長の選出 4 議事（1）令和 6 年度山口市立図書館運営状況について （2）令和 6 年度事業実績及び令和 7 年度事業予定について （3）その他 5 その他
内容	○岡村管理担当主幹 ただいまから令和 7 年度第 1 回山口市立図書館協議会を開催いたします。まず最初に委嘱状の交付を行います。山下中央図書館長が、皆様の前に委嘱状をお持ちしますので、お受け取りください。 ○山下館長 （委嘱状交付） ○岡村管理担当主幹 続きまして、山下中央図書館長が挨拶いたします。 ○山下館長 中央図書館の山下でございます。4 月の異動で、こちらに着任してまいりました。よろしくお願いいたします。本日はご多忙の中、山口市立図書館協議会の会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日開催の当協議会につきましては、図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館方針について、館長に対し意見を述べることを目的として、設置しているものでございます。 今年度の会議につきましては、本日を含め 3 回の開催を予定しておりまして、サービス計画や子ども読書計画に基づく、各種事業などに対してご意見をお伺いしたいと考えているところでございます。協議会委員の構成につきましては、学校教育、社会教育に関係する方、それから家庭教育の向上に資する活

動を行っておられる方、学識経験を有する方、公募で選出させていただいた方をお願いをいたしておりまして、12名の方を任期2年として委嘱させていただいております。本日につきましては、会長、副会長を選出の後、昨年度、今年度事業等についてご説明させていただきまして、皆様から忌憚のないご意見を賜りたいと考えております。簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○岡村管理担当主幹

次に、委員の皆様から自己紹介をお願いしたいと思います。

(委員挨拶)

○岡村管理担当主幹

ありがとうございました。続きまして、事務局を紹介いたします。

(事務局紹介)

○岡村管理担当主幹

この度の協議会は、12名の委員で構成となっております。本日は、桑田委員、瀬川委員、中西委員、安光真由美委員が欠席ですが、委員の過半数の出席がございますので、山口市立図書館条例施行規則第24条により、会議は成立しておりますことをご報告いたします。

続きまして、会長及び副会長の選出をお願いしたいと思います。会長、副会長につきましては、山口市立図書館条例施行規則第23条により、委員の互選により定めることとなっております。皆様の中から自薦他薦を含めて、どなたか、ご意見をいただければと存じます。

(意見なし)

それでは事務局といたしまして、会長は、これまでの協議の継続性の観点もございまして、昨年度に引き続き、安光委員にお願いできたらと考えております。

(拍手)

○岡村管理担当主幹

副会長につきましても、学識経験の観点から、引き続き山口大学の伊東委員にお願いできたらと思います。皆様、いかがでしょうか。

(拍手)

○岡村管理担当主幹

ありがとうございます。ただいまの多数の拍手によりまして、会長は安光委員、副会長は伊東委員でご承認いただいたということで、よろしくお願いいたします。それでは、山口市立図書館条例施行規則第24条により、会長が議長となりますことから、これから安光会長に議事進行をお願いしたいと思います。

○安光会長

よろしくお願いいたします。では、始めさせていただきます。まず最初に、

本日の協議会につきまして、議事録を作成いたしますことから、録音させていただくことにご同意いただきたいこと、皆様方よろしいでしょうか。

それから、議事録をホームページ上に公開するという、これもよろしいでしょうか。

それでは、議事に入ります。令和6年度山口市立図書館運営状況について、2番目に、令和6年度の事業実績及び令和7年度事業予定ということについて、皆様方から忌憚のないご意見等を頂戴できればと思います。

それでは、まず令和6年度山口市立図書館運営状況について、お願いいたします。

○岡村管理担当主幹

令和6年度事業実績ですけれども、山口市立図書館の基本的なサービスに加え、各図書館の特色を活かした取組を実施いたしました。

中央図書館です。図書館利用層の拡大を図るため、作家講演会や企画展示、イベント等を実施いたしました。本に親しむ環境づくりとして、まちじゅう図書館に取り組みました。児童ボランティアや朗読ボランティア等の、図書館ボランティア団体を対象とした、研修会を実施するなど育成を図りました。

主な取組として、まず利用者拡大の取組として、作家講演会・企画展示、市の他の部署と連携した健康づくり講座の実施、民間事業者と連携した各種事業の実施、まちじゅう図書館の取組の充実、それと、子どもワイワイ図書館を開催いたしました。次に、子ども読書活動の推進として、絵本作家を講師としたワークショップを実施しました。また、定例のおはなし会を開催いたしました。

次に小郡図書館ですけれども、図書館友の会鉢の子と連携したイベントの実施・充実を図りました。関係団体と協力しながらのおはなし会、上映会などの開催、施設見学や職場体験を受け入れました。

主な取組といたしまして、利用者層の拡大で、友の会鉢の子と連携して、イベントの実施・充実を図りました。子ども読書活動の推進として、定例のおはなし会を開催しました。企画展示の充実として、毎月様々なテーマに沿った企画展示を実施しました。他機関との連携強化として、文化資料館展示に合わせた、資料展示の工夫やイベントを実施しました。小郡地域交流センターと連携した上映会の開催、こちらは子ども向け、大人向け各種を実施しました。資料整備として、地域資料の整備、閉架書庫内の配置の変更と資料を整備しました。図書館の改修として、空調機を改修しました。

秋穂図書館ですけれども、読書環境づくりとして、季節や社会情勢に応じた企画展示を行いました。関係団体と協力して、大人のためのおはなし会や、子ども対象のおはなし会などの活動を推進しました。

主な取組として、まず図書館利用の促進ですけれども、子どもワイワイ図書館を開催しました。資料展示を充実させました。館内機能の充実と、館内緑化を

推進しました。小学校や放課後児童クラブとの連携による、図書館利用の促進を実施しました。次に子ども読書活動の推進ですけれども、定期的なおはなし会の開催に努めまして、クリスマスなどの時期を捉えて、おはなし会スペシャルを実施しました。定例のおはなし会を開催しました。次に企画展示の充実として、季節ごとのテーマに沿った企画展示を実施しました。地域の情報発信として、地域資料の充実を図ることにより、他機関との連携を強化して、地域情報の発信に努めました。

続きまして阿知須図書館ですが、利用者が図書館をサードプレイスとして快適に利用できるように、環境づくりに努めました。おはなし会や子ども向け上映会などを開催しました。職場体験を受け入れました。

主な取組といたしまして、利用しやすい環境づくりとして、図書館をサードプレイスとして、快適に利用できる環境づくりを実施しました。資料展示コーナー、返却コーナーの充実を図りました。積極的な図書の買い直しによる利用しやすい書架の整備を実施しました。次に新たな利用者の拡大促進につきまして、隣接地域からの来館に繋がる情報を発信しました。手づくりの参加型企画を開催しました。展示ロビーの市民への開放による積極的な活用を推進しました。次に学校等との連携強化ですけれど、学校連絡協議会の開催による、子ども読書活動を推進しました。地域の保育園の子どもたちの来館を促進させました。次に図書館施設の改修ですけれど、安全な施設とするために、屋根のシート撤去工事、それとフィルムの設置工事を実施しました。

次に徳地図書館ですけれども、徳地の幕末維新など地域の歴史に関する講座や未就学児小学生対象のイベントを開催するなど、図書館の利用促進を図りました。

主な取組といたしまして、まず図書館利用促進のためのイベント開催ですけれども、歴史講座の開催をしました。ストーリーテリングの集い、読み聞かせ講座を開催しました。七夕飾りを実施しました。サンタさんに手紙を書こうを実施しました。子ども読書活動の推進ですけれども、ブックリンピックを実施しました。ブックスタート体験会を開催しました。こちらは、育児相談と同時開催しております。図書館での授業を実施しました。絵本コーナーの拡充をしました。地域の情報発信をしました。

次に、阿東図書館ですけれども、分館配送事業の周知を図るとともに、気軽に入れる図書館づくりに努めました。また、利用拡大を図るため、図書館だよりの配布等による情報発信に努めました。職場体験を受け入れました。

主な取組といたしまして、図書館利用の促進ですけれども企画を充実させました。大型展示物を作成しました。子ども読書活動の推進ですけれどもDVD上映会を開催しました。工作教室を開催しました。ブックスタート体験会を実施しました。それと、分館配送サービス及び移動図書館を周知しました。大野進二氏制作のDVDの特別上映会を実施しました。

令和6年度山口市立図書館運営状況の事務事業別概況として、図書館管理運営業務が、中央図書館から阿東図書館まで書かれております。

移動図書館管理運営業務といたしまして、中央図書館からのコースと阿東図書館からのコースの実績状況をあげております。

学校図書館支援サービス推進事業として、こちらも中央から阿東まで、それぞれ職場体験、ボランティアなど受け入れ状況となっております。それとブックスタート推進事業の実施状況をあげております。

子ども読書活動の推進事業として、展示、おはなし会など実施事業の実績をあげております。

それから図書館活用推進事業として、それぞれの図書館ごとのイベントの開催状況の実績を掲載しております。

令和7年度は、すでに子どもワイワイ図書館を4月26日に開催しておりますので、その実績がありますので、こちらをあげております。今年の子どもワイワイ図書館につきましては、中央図書館から阿東図書館まで開催日を同日にしております。実績といたしましては、入館者数と、それぞれのイベントの参加者数合計で5,589名の参加、来館者がありました。

令和6年度の市立図書館の各種指標を4年度の実績との比較ができますのでご覧ください。それぞれの館ごとの実績を令和5年度との比較であげております。以上です。

○安光会長

はい、ありがとうございます。先に令和6年度事業実績で、付け足すようなことがあれば、お願いできればと思います。

○山下館長

では、中央の方から説明させていただきます。代表的なものだけ、補足を含めて説明させていただければと思います。

子ども読書活動推進事業につきましては、代表的なものでいけば、先ほど少しありましたように1月15日に、絵本作家、イラストレーターとして活動されているh a i j iさんという方を講師として招きまして、体験型ワークショップと、サイン会を実施しております。

それから、その次の段の学校図書館支援事業は従来通り、そのさらに下の図書館活用推進事業につきましては、児童文学作家の村上しいこさんをお招きしまして「ものがたりがうまれるところ」と題した、講演会を行っております。それから、市の健康増進課と連携して、9月に「図書館で学ぶウォーキング講座」を実施しております。それから、まちじゅう図書館は、5月20日に開催した「うちの布で素敵にリメイク、ハンカチやバンダナで作る巾着袋」というのを皮切りにしまして、大体1月に1回という流れで12回くらい、ナチュラル和菓子体験、ヘアアレンジ、ChatGPT、これだけは知っておきたい実家の相続セミナー、古代小麦のわらミニぼうき作りとかですね。そういった

イベントが、まちじゅう図書館で民間業者と連携しているものになります。その他は、図書館まつり、子どもワイワイ図書館、それからライブラリーコンサートをやっております。レノファ山口さんとコラボしているコーナーも館内にあります。試合結果なども展示しております。去年の10月27日～11月9日にかけては、選手と監督の方に、それぞれの方のおすすめする本のパネル展示を実施いたしました。中央につきましては、以上でございます。

○安光会長

ありがとうございます。それでは、杉山館長さんお願いします。

○杉山館長

小郡図書館の令和6年度の事業実績を申し上げます。利用者層の拡大といたしましては、この図書館活用推進事業の中に書いております図書館まつりや子どもワイワイ図書館の実施、図書館友の会との共催で、いろいろなイベント等を開催させていただいております。昨年度は、鉢の子さんの15周年ということで、児童文学作家の堀米薫さんをお招きいたしまして、「農民と童話作家として」と題して、特別講演会を開催いたしております。

次に、子ども読書活動推進についてですけれども、すきなおはなしの絵展示については、561点の応募がありまして、6月～11月にかけて、図書館内の児童コーナーに順次、展示をさせていただきました。そして定例のおはなし会では、みんなのおはなし会を10回、4歳以上からのおはなし会を12回、赤ちゃんのためのおはなし会を12回、折り紙教室を12回、開催しております。あと6月に図書館はっけんツアー、7月に科学教室、10月にものづくり教室、12月に子どもワイワイ本カフェを開催いたしております。あと、子ども向け上映会を2回、開催いたしております。

次に企画展示では、職員が毎月違った企画で本の展示をいたしております。テーマについては、毎月、図書館だよりや市立図書館のホームページで、お知らせをしているところでございます。

次に他機関との連携では、小郡文化資料館が、昨年30周年ということがございまして、「葛原輝—その軌跡とまなざし—」という企画展を開催されておりますので、それに併せまして、小郡図書館では日本画の資料を集めまして、特別企画展示「日本画を親しむ」という企画展示を行っております。

それから、鉢の子さんとの共催で、古写真カフェを開催しているのですが、その古写真カフェの講師を、資料館の学芸員さんをお願いして開催しております。参加者の皆さんが懐かしい写真を見ながら、話をする場を設けさせていただきました。そして、小郡地域交流センターとの連携では、大人向け上映会を2回、子ども向け上映会を2回、開催しております。

あと資料整備では、昨年に引き続いて地域資料の整備、閉架書庫内の図書の整備をいたしております。

そして、図書館施設の整備について、6年度予算で外壁改修工事が載ってい

たのですが、これについては、2回入札をかけて、2回とも不調になりましたので、7年度に繰越になっております。それと空調改修工事ですが、昨年度3回、不具合が起きまして、5月、7月、12月の3回ほど工事をしております。

以上、令和6年度の実績でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございました。秋穂の網田館長よろしいですか。

○網田館長

はい、秋穂図書館です。6年度の事業実績については、先ほど岡村主幹から説明があった通りでございまして、それ以外で申し上げますと、昨年8月に秋穂地域で長年に渡り、図書館活動にご尽力をいただきました、原田洋子（はらだひろこ）さんから秋穂図書館にご提供いただきました、約1,600冊の主に絵本や英語の本など、大人の本も含めて、図書館に展示をさせていただきました。これは館内のみの閲覧にはなりますが、たくさんの利用者が手に取っております。併せて10月には、入館者が70万人を迎えまして、記念品や花束を差し上げたところです。各館の各種指標というのがありますが、秋穂図書館においては、すべての数字において前年度比プラスという形になりました。貸出点数は0.0%ですが、マイナスは開館日数だけで、あとについては1日当たりの貸出点数、入館者数を含めて、プラスに転じているというところが、6年度の取組の成果かなというふうに考えております。以上です。

○安光会長

はい、ありがとうございました。それでは阿知須の国重館長、お願いします。

○国重館長

それでは、阿知須図書館です。まず学校図書館支援サービス事業では、職場体験としまして、5月21日、22日の2日間に川西中学校の2年生、当初2人の予定でしたが、1人ご病気になられましたので、1人を受け入れました。

次に、中学校ボランティア活動といたしまして、7月5日に阿知須中学校の生徒さんが18人、12月10日に20人、計38人を受け入れました。10月11日に、小学校の施設見学としまして、阿知須小学校2年生、65人を受け入れております。

次にブックスタート推進事業でございます。体験会自体は隔月の奇数月に開催しております。参加状況としましては、対象地域が阿知須地域と佐山地域でございまして、対象者74人のうち42人が参加されました。ちなみに阿知須地域の対象者は68人で、参加者は39人でございます。図書館活用推進事業では、11月3日にきらら館まつりを開催しまして、子ども向けの上映会や本のリレー市、おはなし会など、6つのイベントを行いまして、イベント当日は721人の来館をいただきました。手づくり参加企画としましては、七夕飾り

や「おすすめ本を教えてください」を行いました。「おすすめ本を教えてください」は、利用者のおすすめする本のタイトルと、おすすめのポイントをポップに記入してもらい、伝言板のような形で館内に掲示しました。

最後に工事関係ですが、阿知須図書館の屋根にありました、鉄骨のシート撤去工事とフィルム設置工事です。10月の特別閉館中に工事を行いました。阿知須図書館のシンボルでありました、屋根の上のピンク色の花びらのようなモニュメントが、設置から24年が経過しており、鉄骨の部分が腐食・劣化しておるため、風の抵抗をできるだけ減らそうということで、鉄骨の負荷を軽減するため、シートを撤去したというのが、今回の工事の目的です。併せまして、天窓がシートに覆われている部分が露出しましたので、光と熱を緩和するため、遮光・遮熱フィルムをガラスに貼り付けました。今回のこの工事によって、晴天時の館内の明るさが保たれるようになりまして、天井の真ん中にありました水銀灯の点灯時間を減らすことができ、省電力にも繋がったというところが、今の現状です。以上でございます。

○安光会長

それでは徳地の榎本館長、お願いします。

○榎本館長

それでは、徳地図書館事業実績について申し上げます。まず、図書館利用促進のためのイベントといたしましては、まず9月には、地元の郷土史家の方に講師をお願いし、幕末維新期における徳地地域を題材とした、第9回目となる歴史講座を開催いたしました。視聴覚室定員いっぱいとなる30名の方々に、熱心にご聴講いただいたところでございます。また10月には地域のボランティアの方々のご協力により、ストーリーテリングの集いを開催し、6名の方に語り手となっていただき、それぞれ講師から、熱心にご指導をいただいたところでございます。また昨年度は、物語を語ることに加えまして、講師による初心者向けの読み聞かせ講座も同時に開催し、好評を博したところでございます。

次に子どもの読書活動の推進につきましては、子どもを対象とした読み聞かせ、DVD上映会やゲーム等を行うワイワイ図書館の開催をはじめ、一定期間に30冊以上の本を借りた子どもに景品をプレゼントする、ブックリンピックを開催いたしました。また6月に実施したブックスタートにつきましては、市の保健センターと連携し、図書館の視聴覚室において、子どもの健康相談と同時に開催いたしました。父兄の皆様にも図書館を観覧していただくとともに、ブックスタートの対象以外の子どもにも、読み聞かせを実施するなど、図書館へ気軽に足を運んでもらえるよう、努めてきたところでございます。

もう1点、昨年度は大型本用の書架を新たに購入し、合わせて照明設備も新設することで、読みたい本をより多くの絵本の中から選んでいただけるよう、絵本コーナーを拡充したところでございます。

6年度の主な取組は、以上でございます。

○安光会長

どうもありがとうございました。それでは、阿東の徳本館長、お願いいたします。

○徳本館長

それでは、阿東図書館でございます。まずは、図書館まつりでございます。このまつりにつきましては、8月4日に開催したところでございまして、来場者の延べ数が、1, 292人となっております。

主な事業内容としましては、ワールドラリーを始め、子ども向けのDVD上映会や折り紙での工作教室、それからヨーヨー釣り、こういったものを行ったところでございます。また、まつりの終了時には、ビンゴ大会を行いまして、雑誌の付録などを景品として差し上げるとともに、会場に飾り付けておりますバルーン、これもプレゼントして、子どもさんを始めとした来場者の皆さんに喜んでいただいたところでございます。

それから4月27日に開催いたしました、子どもワイワイ図書館でございます。これにつきましては、「さがしえシールラリー」を行いまして、終了した人への折り紙のプレゼントや、午前と午後と2回に渡っての、子ども向けDVD上映会の開催、また工作教室での風車の作成やボランティアで読み聞かせを行っている地域の方々にご協力をいただきまして、おはなし会を実施したところでございます。来場者延べ数につきましては、324名となっております。また子どもワイワイ図書館、それから図書館まつりを含め、子ども向け、あるいは大人向け、計5回に渡ってDVD上映会を開催いたしまして、図書館へ足を運んでいただく機会を作っていくことや、季節ごとの特別企画としまして、大掛かりな飾り付けや本の平置きを行うなど、来館者の目を引くよう、努めてきたところでございます。

その他、小学生の施設見学等をして、徳佐小の子どもたちに地域まち探検と称しまして、図書館の利用案内や中学生、高校生に職場体験をしていただいたところでございます。

以上で阿東図書館の説明を終わります。

○安光会長

どうもありがとうございました。令和6年度の運営状況と事業実績ということで、まとめてみました。何かご質問があればお願いします。

○仲村委員

まちじゅう図書館は、しばらくやっていると思うのですが、いろいろなところが参加して増えていると思いますが、そういったところの評価や成果について、どういった点があると考えていますか。

○一村サービス担当主幹

まちじゅう図書館の店舗については、毎年度公募をして、新たな店舗を募集

していますので、店舗数自体が増えているということはないです。まちじゅう図書館の新しく作りました冊子をお配りしていますけど、現在は、公募で16店舗選んでいまして、この店舗の方に、いろいろな企画をしてもらっています。

5年以上経っておりますけど、入れ替わりが毎年あります。そうした入れ替えがあることによって、新しい企画とか、これまでの図書館で行っていなかったようなイベントができるということがありますので、そうした入れ替えを前提に、事業を組み立てていくところです。

○仲村委員

これをやっていて、何か成果が見えますか。

○一村サービス担当主幹

まちじゅう図書館には、イベントを事業者に実施してもらおうということと、店舗の方に本を置いて、そこで読んでもらうという2つの側面があります。イベントの方につきましては、図書館だけではできないような、多様なイベントや企画を民間業者さんのノウハウを使って実施していただいて、それにより図書館の賑わいを生み出すというところにあるかと思いますので、イベントの参加者という形で、捉えております。通常、図書館に来ないような方の来館を促進している側面があると思っています。

まちじゅう図書館の店舗の方で、本をどう読んでいるかというのがもう1つの側面としてあるのですが、こちらの方は貸し出しをしているわけではなく、あくまでも店舗の中で本を読んでもらうという資料ですので、利用者へのアンケートとか、聞き取りによって、どのくらいの利用があるかというのを、こちらの方では把握をしている状況でございます。

○仲村委員

ありがとうございます。これはすごく特徴的な取組だと思うのですよね。いろいろな図書館と比較しても、結構おもしろい取組だと思うのです。これによって図書館側のメリットとか、参加者側のメリットみたいなものが、もっと見えるようになったらいいかなと思います。だから、ぜひ続けていただきたいという意味で申し上げます。

次に、学校図書館支援関係のことで、例えば運営状況のところに書かれているもののほとんどが、見学の受け入れが書かれているのですが、それ以外の部分でこういったような取組があるのかなと、教えていただけたらと思うのですが。

○一村サービス担当主幹

学校図書館支援事業は、中央図書館で全市的に行っています。

取組内容としては、いろいろございますけど、例えば各小学校、中学校、幼稚園、保育園への配送サービスをしております。団体貸出は、利用者の方が図書館まで出向いてきて、ご自分で本を選んで貸し出すというのですが、

配送は、こちらで予めグルーピングした本を、小学校は毎月100冊、中学校は50冊、それと幼稚園、保育園につきましては25冊ずつ、本を毎月配送しております。幼稚園・保育園につきましては、2歳児以上を扱う、公立も私立も含めた全園を対象として、サービスしております。保育園の配送につきましては、25冊の中に大型絵本を2冊、それから紙芝居も入れておりますので、それを実際に保育の場で、先生が読み聞かせに使うといった活用をいただいているということを聞いております。小学校、中学校の配送につきましては、用途の方は、各学校にお任せをしております。これはすべて中央図書館から配送しております。

それから、新刊ブックトークを行っております。学校で、選書会という取組があります。これは、児童生徒自身が、学校図書室にどのような本を置いたらいいか選んで投票して、それを実際に学校図書館に入れるという、そういった企画をされる学校が最近多いのですが、新刊本を図書館から提供して、各学校を巡回させています。そうすることによって、その学校に入れる本を決めることができる、そういった取組です。それに合わせて、こんな新刊書がありますよというブックトークを図書館の職員が出向いて行っております。

それから今年度も予定しておりますけど、学校司書を対象とした研修会を行ったりとか、そうした取組をしています。

○仲村委員

ありがとうございます。

○安光会長

今の質問があるということは、見ただけでは分からないということなので、単に職場体験受け入れだけではなく、学校図書館をきちんと支援しているよという形が見えるように、またご検討いただければと思います。

○一村サービス担当主幹

この全体のところに、配本の事しか書いておりませんので、他の取組内容というのを加えておくといいでしょうね。

○安光会長

その方が良く分かると思います。何か他にありますか。

○伊東副会長

ブックスタート体験会とありますが、例えばブックスタートパックとかを、全部の乳幼児に配付するというのは、このブックスタート体験会でやっていращやるわけではなくて、別にやっていращやるわけですね。それは、例えば図書館がやっているわけではなくて、他の子どもに関係する部署だとかがやっていращやるということなのではないでしょうか。

○一村サービス担当主幹

ブックスタート体験会の実施方法なのですが、山口市の場合は、すべて図書館で所管しておりますので、各図書館でそれぞれの地域の受け持ちを決めて

おりまして、保護者の方に対して、一対一の環境の中で、絵本の読み聞かせの大切さをお伝えしたり、あるいは読み聞かせの具体的な方法を実演しながら示したりして、その後に絵本をプレゼントするということをやっております。これは図書館の職員が出向いてやっています。ただし、それだけだと、なかなか参加できない方もいらっしゃると思いますので、そういった方を対象に、例えば交流センターで、後日お渡しするとか、そういった補足的な取組もやっております。

○伊東副会長

交流センターでの手渡しの部分も含めて、子ども読書活動の推進事業の、ブックスタート推進事業のところに、目標値が1,600というのがでているのですよ。この1,600という数字は、多分、山口市の年間の乳幼児数だと思うのですが、ブックスタートというのは基本的に、すべての新生児に1冊、絵本をプレゼントしようというのが、基本的な形、それこそが基本的な形で、それにプラスして、その時に読み聞かせをすとか、1才とか0才とかという子どもが、絵本の読み聞かせをしてもらおうと、これだけ興味を示すのだということを、お父さんお母さんにその場で分かってもらおうというのが、ブックスタートということですね。ブックスタート体験会の中で、ほぼすべての子どもに手渡しできているのだったら、それでいいのですけど。

○一村サービス担当主幹

こちらとしては、2つの指標を作っていまして、1つが体験会の参加者数。実際にブックスタートの86回やった体験会に来てくれた方の人数です。それとは別にもう1個、贈呈率という指標を作っていて、それは体験会には来なかったけど、後日交流センターとかで渡したという方も含めた総数という2つの数で捉えています。この数年、少し数値が落ちてきています、配布率も贈呈率も…。昨年度の最終的な贈呈率は73.6%です。

○安光会長

このサービス計画の、実際の成果指標と数値目標というのは、贈呈率ということで、今年度末には83%、令和9年度、最終年度は85%ということですが、さっき73%と言われたので、下がっているというような…。数値目標が複数あるということですね。

○伊東副会長

自治体によっては、ここで言うところの贈呈率を上げるのを躍起になっているところもあって、90%とか100%にしなければいけないと言って、保健師さんが配って回っているというところもあるのですが、ブックスタート体験会で配られれば1番良いわけですが、そういうわけにもいかないとなると、その数字をどれだけ上げていくかということですね、

○一村サービス担当主幹

そうですね。ブックスタート事業についての基本的な考え方としては、絵本

をプレゼントするということの主眼があるのではなくて、どちらかという
絵本を読むひと時を大切に、読み聞かせの大事さとか、そういったところ
を、きちんと赤ちゃんと保護者に伝えるというところに主目的があって、それ
に併せて絵本をプレゼントするものだというふうに、私どもは認識がありま
す。

本来であれば、贈呈率よりも、直に保護者と赤ちゃんに、きちんと絵本の大切さを伝えていくというところに、本当は主眼があるべきで、贈呈となると、ただ絵本を渡すだけみたいになってしまうので。

○伊東副会長

そうですね。

○一村サービス担当主幹

できれば、体験会の参加率の方を上げていくということが、大事なのではないかと考えています。交流センターでお渡しするというのは、交流センターの職員に対応していただいていますので、そうすると図書館の職員が関与できないですね。ただ絵本を渡すだけの取組になってしまうので、そうではなくて、実際に読み聞かせの場を作ったりしながら、その大切さを伝えていくという意味では、図書館の職員が直に行った方が適切だとは思いますが、なかなかそこは難しく、しかも近年は、減少傾向になっているところがあります。それは何でという話も、よく出てくるのですが、やはり1つは、絵本の大切さとか、読み聞かせの大切さというものを、保護者が認識しないことには体験会に来られないということが、現にありますので、どちらが先かという話にはなってくるのですが、普段の図書館の活動であったり利用であったり、そういったところで絵本とか、読書の大切さというのを、周知を図っていくというのが、遠いようですが、参加率を上げていくための近道なのかなとも思っています。

体験会ご案内は、何回も差し上げています。1番最初、「体験会に行きませんか。」というご案内を出すのですが、それに来られない方に対しては、次に、「図書館を会場とした体験会もありますので、別の機会にまた来ませんか。」というご案内を出します。それでも来られなかったら、「今度は、交流センターで、本だけでも受け取りませんか。」という、ご案内をして、それでも来られなかったら、例えば「郵送でお送りしますけどいかがですか。」というご案内もしています。何重にもご案内をする中で、それでもなお、受け取られないという方が、この贈呈率から漏れたところになります。

○伊東副会長

そうですね。

○一村サービス担当主幹

そこに対するアプローチというのは、非常に難しいなということを感じているところです。

○伊東副会長

ある程度小さなまちだったら、乳幼児健診とかで、必ず3ヶ月とか5ヶ月とかの子どもが、必ずそのまちの中の全部の子どもが集まってくるんだというところで、乳幼児健診の会場を借りて、そこでブックスタートをやっているところとかありますよね。網羅的に渡すのだということで、でも山口だとそれは難しいですね。

○一村サービス担当主幹

すべてではないですけど、基本的には乳幼児健診に合わせた日程で、同じ日に同じ建物の別会場で開催しています。けども、実際には足を運ばない方もいらっしゃると思います。

○安光会長

なかなか浸透しないという部分があるので、かなり図書館としても頭を悩ませているところではないかと思います。

それでは、次に7年度にいかせていただきます。

○井上委員

中央図書館さんと小郡図書館さんと阿知須図書館さんが、利用者層の拡大というところを言われているので、利用者層の変化とか、取り組まれて何か手応えとか、そういったことを感じられた事例とかあれば、教えていただければと思ったのですけど。

○安光会長

6年度と7年度を比べていただくと、それぞれのところで一番トップに利用者層の拡大と書いてありますので、6年度の時に、もしそういう何か事例とかあればおっしゃりながら、7年度もお願いできたらと思います。

それでは中央図書館から、中央図書館も利用層の拡大ということで、6年度に具体的には何かありましたか。それも含めて7年度お願いします。

○山下館長

中央の山下です。子どもワイワイ図書館については、今年度は昨年度よりも増えています。これは利用者拡大でやっているところで、今回10年目ですけど浸透ってきていて、この辺りが人を呼び込むという手立てにはなるのかなというのは、実感しているところでございます。

7年度の取組としては、基本的には従来通りのものを進めるということで考えております。

皆様も関心がおありだと思いますけど、図書館システムの更新というのがございます。これにつきましては、今現在の情報を申し上げますと、10月に新しいシステムで図書館が開けるように準備をしております。導入業者も決定いたしました。現在のシステムの業者と同じ業者になりまして、更新にあたっては、パソコン等の機器の入れ替え。それから今の現在の利用者の情報を捉えたデータですね、書誌情報とかもありますので、そういったものの移行。それか

ら全館を含めた職員の操作研修、新しい機能がついていますので、そういったことも含めてやる必要があります。稼働前の準備として、9月18日木曜日～9月29日月曜日を休館する予定にしております。併せて、なるべく利用者の方には影響がないように、全館、通常でしたら、それぞれの館が、それぞれの時期に蔵書点検をしております。それをこの期間にやります。

開館については、阿東・徳地・秋穂・阿知須の4館は、9月30日の火曜日から開館いたします。小郡と中央に関しては、9月30日が火曜日で通常の休館日にあたりますので、10月1日から開館としております。利用者の方への周知については、市報やまぐちに掲載をしますし、図書館のホームページでも、館内掲示もそれぞれ各館で周知をするようにしております。

それから、デジタル技術を活用したサービスの充実が、サービス計画にもあげておりますので、引き続き電子図書館の導入に向けて、予算要求も含めて、こういった形が良いのかという協議を進めていきたいと思っております。

すでに終わっている行事であります、今年レノファ山口とコラボした新たなイベントとして4月5日、愛媛FCと、維新みらいふスタジアムで対戦しているのですが、その時に移動図書館ぶっくんを臨時的に運行しまして、スタジアムの一面に少し場所をお借りして、試合開始までの間にレノファ山口とコラボした、2,000枚の葉とオレンジ色の風船を配りながら、移動図書館の中を見てもらったりとか、貸し出しもできるようにして、それからご来場いただいている、子どもさん連れの親子に読み聞かせを聞いていただいたりして、図書館、移動図書館のPRも行っています。今言ったようなことが、今年度については、新しい取組になるということになります。

以上でございます。

○安光会長

それでは利用者層の拡大を触れながら、新しい取組を中心におっしゃってください。それでは小郡の杉山館長お願いします。

○杉山館長

小郡図書館の令和7年度事業予定を説明いたします。今年も去年と同じ様に利用者層の拡大、子ども読書活動推進、企画展示の充実、他機関との連携、資料整備、図書館施設の改修に努めてまいりたいと思います。利用者層の拡大とありますが、結局は利用者の拡大だと思っています。いろいろなまつりやイベントの中で趣向を変えながら、今まで図書館に来られていない方について、来ていただけるような内容を考えていきたいと考えております。例えば上映会でも、日頃、図書館に来られない方も来ていただけるような内容の上映会をやるということも考えてはおります。統計を取ったわけではないですけど、感覚的にはイベントの参加者というのは、だいぶ増えているのではないかと考えております。今年についてもそのような形で、友の会鉢の子さんも一緒に、事業を展開していきたいと思っております。

それと、今年は資料整備をもう少し、閉架書庫の増設が難しいということもありまして、できるだけ閉架から除籍し、それで閉架書庫が空けば開架から閉架に持って行くと。なかなか個人の判断で難しいところがありますので、そういったところを棚の担当に職員がついて、指示しながらやっていかないと、本当に飽和状態になってきていますので、積極的に今年やっていきたいと考えております。

それと、図書館の外壁工事ですけど、今年度に繰越しになっておりまして、すでに入札が終わって、業者も決まりました。来週から工事の準備に入りまして、8月～9月末までが工期になっておりまして、実施するようになっております。足場を組んだりしますので、できるだけ利用者にご迷惑が掛からないようにやっていきたいと考えております。以上でございます。

○安光会長

それでは、網田館長、お願いします。

○網田館長

はい、令和7年度の具体的な取組として、もうすでに今年度入って4か月、5か月经過しておりますが、まず利用者のおすすめ本を公表いただいて、それをご紹介する取組。

それから、読書通帳を秋穂図書館オリジナルで作成して、イベント時に配付したり、今年昭和100年ということで、閉架書庫の中の様々な資料を蔵出ししたりして、昭和と引っかけた様々な展示を行いました。

それから秋穂図書館、来月8月で15周年を迎えます。8月の最初には図書館まつりもありますけれども、15周年を記念して、秋穂二島に在住の“ほてはまたかし”さんの絵本版画展を1か月間、開催する予定としております。これは版画の原画を含め、珍しいところでは版木、実際に彫ったものなどを展示させていただいて、地域にゆかりの方々の情報発信も併せて、やっていきたいと思っております。以上です。

○安光会長

はい、ありがとうございました。阿知須図書館の国重館長お願いします。

○国重館長

阿知須図書館の7年度の主な取組は、6年度とほぼ同様となります。施設の改修ですが、今年度につきましては、図書館の敷地内ですが、外に変電施設がありまして、ここに電柱から変電設備に引き込むケーブルがあるのですが、その電柱の先端に、高圧気中開閉器という電気部品がついております。これは塩害、または老朽、経年劣化で、交換が必要になってくるものです。開館時から全然変えていないので、本来15年程度で交換するものなのですが、20年以上経過しており、今回は交換が必要ということで、手をつけるというところでございます。

それから利用者拡大ですが、展示コーナーで毎月いろいろな写真、水墨画

等々、掲示しております。また、図書館事業でやっております、好きなおはなしの絵の展示を行いまして、孫の絵を見に来るとか、おじいちゃん、おばあちゃんが来られるというところで、利用者層の拡大につながっています。また中学生ボランティア活動の中で、ポップを作ってもらって館内に展示しております。それを目標に同級生たちが、どのようなことを書いたのかと見に来て、それに関係する本、その作者に関係する本を、また借りに来られるという状況で、毎年徐々に増えて来ていると感じております。以上でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございました。それでは徳地図書館の榎本館長、お願いいたします。

○榎本館長

徳地図書館の新年度の事業につきましては、徳地地域の方と連携をいたしまして、歴史講座やストーリーテリングの集いなどのイベントを、引き続き開催をいたします。今年は、開館30周年という記念の年を迎えますので、11月に開催予定の図書館まつりの日に、これまでとは異なるイベントを企画して、図書館の利用促進を図ってまいりたいと考えております。内容につきましては、現在、検討中でございます。

子ども読書活動の推進につきましても、ブックリンピック、ブックスタート体験会などの他、イースターイベントや図書館たんけん隊などのイベントも復活して開催をしまして、子どもたちへ本に触れ合う機会を、積極的に提供しようと考えております。以上でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございました。それでは阿東図書館の徳本館長、お願いします。

○徳本館長

令和7年度の取組が6年度と大きく変わったところはございませんが、6年度から始めました、ティーンズの本の企画展示、これを行うことによって子どもから大人まで、割と満遍なく本に興味をいただいているところです。これが阿東にとっては層の拡大に繋がっているのではないかなというふうに考えているところございまして、引き続き、企画展示をやっていこうと思っております。

また、大野先生のDVDの特別上映会も、6年度から形を変えてやったわけでございますけども、実際に人数が多くなりました。延べ人数としては若干、回数が減っておりますので、少なくなっているのですが、実人数が多くなっておりまして、大野先生のDVDをよく知ってもらう方が広がったということで、7年度につきましては、当該年度作成分、これを中心にやっていこうと考えているところでございます。以上でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございました。それぞれ図書館まつりがいつなのかを、日にちだけを中央図書館から。

○山下館長

11月16日です。

○杉山館長

11月3日です。

○網田館長

8月2日です。

○国重館長

11月3日です。

○煤本館長

11月2日です。

○徳本館長

8月3日です。

○安光会長

またホームページで検索していただければと思います。もう1つ子どもワイワイ図書館についても、ご説明いただいて、7年度のことを皆様方からご意見等を伺いたいと思います。

○岡村管理担当主幹

令和7年度は、4月26日土曜日に全館で開催しました。それぞれ開催した館と行事、それと入館者数、この日の入館者数とイベント事の参加者数を集計しておりまして、合計が5,589名の来館の参加があったということです。以上です。

○安光会長

ありがとうございました。7年度の事業計画につきまして、ご質問があれば。6年度についても、まだお聞きしたいところがあれば、併せて聞いていただければと思います。

○栗原委員

公募委員の栗原です。6年度についても7年度についても阿知須図書館の方にお聞きしたいのですが、サードプレイスを意識した環境づくり、快適な環境づくりというのを、阿知須図書館さんだけが文言として入っていて、どのような工夫をこれまでできて、7年度もされるのかなというのは、少し聞きたいです。

○国重館長

特別なことはしていないのですが、勉強する場所を設けるとか、軽食を食べられる場所を設けるといった対応をしています。特に明日から夏休みに入りますので、一般の利用者の方が、本を読んだり新聞を読んだりする場所を、子どもたちが勉強のために占領するわけですね。一般の方が来られて、本とか新

聞をゆったりと読めるというふうなスペースの確保を館内で進めています。一応、張り出しもしているのですが、席が空いていれば使っているのではないかと子どもたちもいますので、やはり後から利用者が座りにくいということがあるので、きちんと書いてあるように、ここは勉強する場所ではないので、指定された場所でやってくださいという指導は行っております。

○栗原委員

スペースは確保して、飲食する場所もまた別になるのでしょうか。

○国重館長

はい。

○長谷川委員

各館で行事など、努力していらっしゃるのは、知っているつもりではいたしたけど、こうやって実際に表を見せていただいて、本当に図書館はすごく大変で、地域館は人数が少ない中で、よくこれだけのことをしていらっしゃるなということで、びっくりしました。あと1つ、徳地図書館のイースターイベントって何ですか。

○榎本館長

イースターの日に合わせて、子どもたちができるゲームですね。図書館の棚のところに、いろいろなキャラクターを貼り付けて、それを集めてワードを組み合わせて、最終的に言葉を見つけるというようなゲームをやっています。

○長谷川委員

それもまた手作りですね。

○榎本館長

そうですね。参加してくれた子には景品を差し上げることで、また図書館に遊びに来てもらえるように、そういう工夫をしています。

○長谷川委員

景品なんかも、全部手作りで作っていらっしゃるのですか。

○榎本館長

本の付録もありますし、消しゴムとか、そういう小さな文具を景品に充てています。

○福永委員

阿知須の福永です。よろしくお願いします。最近、図書館を利用して思ったことで、宇部の図書館は、貸し出しが自動にできるようになっていて、とても便利なのですね。返却も、返却のところに置いたらそれだけなのですが、私は阿知須図書館にいと、職員の方と話しながら借りたり返したりができた、この紙芝居を読み聞かせに使いたいんだけど、どういうふうにしたら、きちんと手に入るかしらとかいう相談とかも、乗ってくださるのですよね。だから、宇部の図書館に行った時は、ササッと行ってサッと帰れるという利便性は、すごくあるのですが、やはり小さい図書館で、職員の方がお年を召した

方とやり取りをされているし、そういう温かさは、小さい図書館の良いところではないかなと思うので、大事にしてほしいなど。秋穂の図書館に障害者施設の子どもたちが、借りに行っている時に、すごく温かい感じで接して下さっていて、障がいがある子どもたちって、借りて本を読んでも、その場所に返すことができないのですよね。支援学校は基本、図書館は、借りた本はこの箱に入れておいて下さいと、読んだ本は、自分で返さなくても良いですよというシステムをよく使っているのですが、障がいのある子どもたちが図書館に行った時は、連れてきていらっしゃる人たちも、いちいちそこに返してあげることができなかつたりするのですよね。去年、秋穂図書館で嬉しい体験をさせてもらったので、また夏休み、いろいろな子どもたちが図書館を利用できると思います。

○安光会長

それでは、せっかくの機会ですけど、山口市立図書館全体でシステムが更新になると、9月末に休館してということでしたけれども、このシステムの特徴というか、特にA Iのことが気になっていて、簡単にどういうのが入っていくかというのを、教えていただければと思います

○一村サービス担当主幹

先ほど、中央図書館長から説明を申し上げましたように、今年度システムの更新を予定しておりまして、9月に新しいシステムに入れ替えをします。今、会長がA I機能ということをおっしゃったかと思うのですが、最近、蔵書検索の中に、いろいろな検索の方法があるのですが、通常であれば、例えば書名、著者名、出版社とか、そういった書誌の情報の一部をキーとして、検索結果を出すというものが、通常だったのですが、それに加えて、A Iを使って、そういう書誌の検索とは違う検索結果を導き出すような、そういったシステムを入れている図書館というのが、少しずつ増えている状況です。これは図書館システムとして、それぞれのメーカーさんが自社パッケージの機能に内蔵をするものとして、そういった機能を取り入れていらっしゃるということなのですが、この度システムが新しくなりますので、それに伴って、そういったA I探索というふうに言うておりますけれども、そういった機能も、この度導入する予定としております。イメージとしましては、通常の蔵書検索のボタンがウェブサイトにあって、別にもう1個、A Iを使った検索ができるようなボタンがついて、2つ検索の窓ができる様なイメージで考えていただければいいと思います。そうするとA Iが考えた、書名とかでヒットしないような、別の検索結果が表示できる機能が使えるイメージです。

○安光会長

ありがとうございます。システム更新の時は、5年間を考えないといけないと思うので、私たちも生成A Iと図書館ということも、考えていかなければいけないと思っております。

もう1つLED問題はどうなっていますでしょうか。防府とか、山陽小野田はもう済ませて、今年度、県立も2月にLEDに全部取り替え、県庁全体がLEDに替えるということらしいのですが、山口市立図書館は、計画はありますでしょうか。

○岡村管理担当主幹

LED化につきましては、現在のところ山口市は、全庁的な考えでやるという方針がでております。ただ、具体的にいつから工事ができるかは、まだ示されておられません。秋穂図書館は高天井ということもあって、その照明不具合がおきておりますので、その更新の設計を今年やります。来年度、照明の改修工事なのですが、今の蛍光管にしても、またLED化しないといけないということになりますので、来年度、秋穂図書館につきましては、LED化工事をあわせて実施するというので、要望をあげる予定にしております。他の図書館につきましては、まだ具体的にはいつというのが決まっておられません。

○井上委員

お忙しい中で申し訳ないのですが、議事録をもう少し早く、アップしていただければ有難いと思います。

鉢の子で協議会に向けて、会の皆さんにご意見をいただきたいので、せめて1～2か月で情報をあげていただければと思っております。あと、ペーパーレス化も進んでいますので、協議会の資料を紙かデータかで選べると、発送の簡略化にも繋がり、データでいただくと会の中で共有もできますので、ご検討いただければと思います。

こんこんパークで読み聞かせが行われているそうなのですが、市立図書館でも関わっていくこととかお考えでしょうか。利用者獲得にも繋がる機会になって良いのではないかと思います。

○山下館長

指定管理になっているので、例えばレノファ山口のアウェイの試合をみんなで観るとか、餅まきをやったりとか、いろいろなことをやっているの、指定管理者が、いかに集客しようかということでやられているのだと思うのですよね。

○一村サービス担当主幹

大学と連携して実施されていて、昨年度、山口大学の学生が、どういったふうを選書したらいいかなど相談に来られたりはしていらっしゃると思いますので、いろいろな本の選び方などお話はさせていただいたこともあります。

○井上委員

ありがとうございます。

○安光会長

それでは、まだご意見あると思いますが、図書館システムをリニューアルするのに伴って、その際にウェブサイトも変わります。今までいろいろ、意見

を出しましたが、何かホームページをご覧になって、何かこうしたら良いという意見があれば、改めて図書館までお知らせしてくださいとのことでした。

○一村サービス担当主幹

これから図書館のシステムの具体的な作成に入っていきますので、その中で図書館のウェブサイトについては、これまでの協議会でも十分、ご意見はいただいているのですが、それに加えて、お気づきであったり、こうした方が良いのではないかみたいなことがございましたら、協議会の委員の皆様からの意見を頂戴したいと思っておりますので、よろしくお願いします

○安光会長

大体、1週間くらいということでしょうか。

○一村サービス担当主幹

そうですね。

できることもあれば、できないこともあるかと思いますが、善処できればと思っておりますので、何かご意見がありましたら、お送りいただければと思っております。

○安光会長

自動貸出機も変わるのですか。

○一村サービス担当主幹

そうですね。

○安光会長

前に申し上げたように、1冊ずつの「ず」が「づ」だったので、それはやめていただきたいなというような、ちょっとしたことは気付きです。

○一村サービス担当主幹

既存の機械も再利用しながら、新しい機械も導入していきたいと考えております。

○安光会長

私はトップ画面がどうあるかというのが、すごく必要なと思っているので、皆様方も例えば、よその図書館をご覧になって、こういう感じが良いですよと、具体的に言って差し上げた方が良いかなと思っています。

○一村サービス担当主幹

そうですね。イメージで言っていただくとなかなか伝わらないので、このような機能がとか、ここをこうしたいみたいな具体的なお話をいただいた方が、有難いかなと思います。

委員会など、これまで協議会の中では、ビジュアルイメージが弱いということ、会長からもよく意見をあげられていましたので、その辺りは、配慮したいと思っています。

○安光会長

1つ、皆さんにお伺いしたいのですが、国立国会図書館なんかは、トップ

	画面があって、チラシの画線が変わっていくのですが、そうしたことも機能としてはできるのですよね。 ○一村サービス担当主幹 考え方だと思いますけど、そういった使い方もできると思います。 ○伊東副会長 今は、スマホで見る人が多いと思うので、スマホの画面がどうなのかというのが大事。そこの使い勝手がどうかというところがあるでしょうね。国立国会図書館のを見ている人は、極々一部かもしれないので。 今のは、すごくスッキリしているのですが、これがもっと使いやすくなると良いと思います。 ○安光会長 何かホームページのこともいいですし、この資料でお聞きしたいというようなことがあれば、やはり1週間を目途ということで、まずは一旦、中央図書館の方に聞いていただければと思います。 それでは以上で、本日の議事は終了いたしました。それでは、事務局にお渡しします。 ○岡村管理担当主幹 ありがとうございました。次回の開催時期ですが、例年のように秋頃を予定しております。またご協力をお願いできればと思います。 これで令和7年度第1回図書館協議会は終了いたします。会議の円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。
	山口市立中央図書館 TEL 083-901-1040